

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	敬老事業		担当課 【2】	高齢介護課				
			評価者(担当者)	酒井 玲子				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑤いきいきと暮らせる福祉のまちづくり						重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(3)社会福祉の充実						
	施策区分	(3)高齢者支援の充実						<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市敬老祝品贈呈要綱 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 敬老会事業要領 】 <input type="checkbox"/> 該当なし							
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務							
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 3 項 1 目 3 細目 3							

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	多年にわたり、社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うため。
対象(誰、何に対して) 【9】	敬老会：75歳以上、金婚夫婦、米寿：88歳、100歳祝賀：100歳、101歳以上祝賀：101歳以上
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	高齢者の長寿及び金婚夫婦を祝福し、市民の敬愛思想の高揚を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H 17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> 敬老会：小学校区ごとに各区長会に委託し、開催方法等は区長会にほぼ一任して、開催する。 金婚・米寿：小学校区、自治区、行政区単位で祝いを開催し、記念品、表彰状を渡す。 100歳祝賀：誕生日に記念品、顕彰状を渡す。 101歳以上祝賀：記念品(カタログ)を渡す。 </div> <div style="width: 35%; border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> 事務事業を構成する細事業 【15】 ① 長寿者等表彰事業 ② 敬老会開催事業 ③ ④ ⑤ </div> </div>

《事務事業実施に係るコスト》

		H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%				
		県支出金	%				
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源		18,949	19,284	19,689	22,087
	【16】 小 計		18,949	19,284	19,689	22,087	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	183	0	
	職人 員件 の費	職員人工数		0.50	0.30	0.30	0.30
職員の年間平均給与(千円)			5,685	5,610	5,610	5,610	
【17】 小 計			2,843	1,683	1,683	1,683	
合 計			21,792	20,967	21,372	23,770	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 長寿者等表彰事業	100歳・金婚夫婦・米寿者に賞状・記念品、101歳以上に記念品を授与する。	賞状・記念品授与人数	人	857	875	921	1,015
② 敬老会開催事業	各校区に委託して敬老会を開催する。	敬老会開催場所数	箇所	65	73	84	84
③		(4自治区の数・開催件数含む)					
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 賞状、記念品授与者数	100歳、101歳以上、金婚夫婦、米寿者合計授与者数	人	850	998	983	1,015
2	(4自治区の数・開催件数含む)		857	875	921	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	日本では高齢者を敬うべきものとして国民の祝日にもなっており、敬老事業の廃止は、市民の高齢者への敬愛思想の高揚を阻害することにつながる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) C	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	民間委託も可能ではあるが、費用はかさむ事が考えられる。H27年度より金婚表彰に関しては、玉名市全体での開催を予定している。他の敬老事業に関しては、校区単位や行政区単位など実施状況はそれぞれであり、また、区長会等から改善を求める声があり、検討する必要がある。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
公平性	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	金婚表彰については50年の大きな節目ということで、平成27年度より市全体で表彰式を開催する予定である。また、敬老会については、事業を委託している区長会等から開催方法の改善を求める意見が出ており、式典の実施方法、記念品の配布のみなど、今後検討を行っていく必要がある。
昨年からの見直し・改善状況【32】	天草市を除く県内各市では、市全体での金婚式表彰を開催されており、玉名市においても平成27年度から市全体での表彰式を開催することとした。そのことについて区長会代表及び支所等に説明を行い、協力をお願いした。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	家族や地域のつながりの希薄化により、敬老会の維持運営には苦勞している。今後、超少子高齢化社会が到来することが予想される中で、家族や人と人とのつながりの意義をPRし、敬老会が高齢者にとって感謝と尊敬を表わす会となるよう存続を図っていく。	評価責任者 福田 高広
------------------	---	----------------